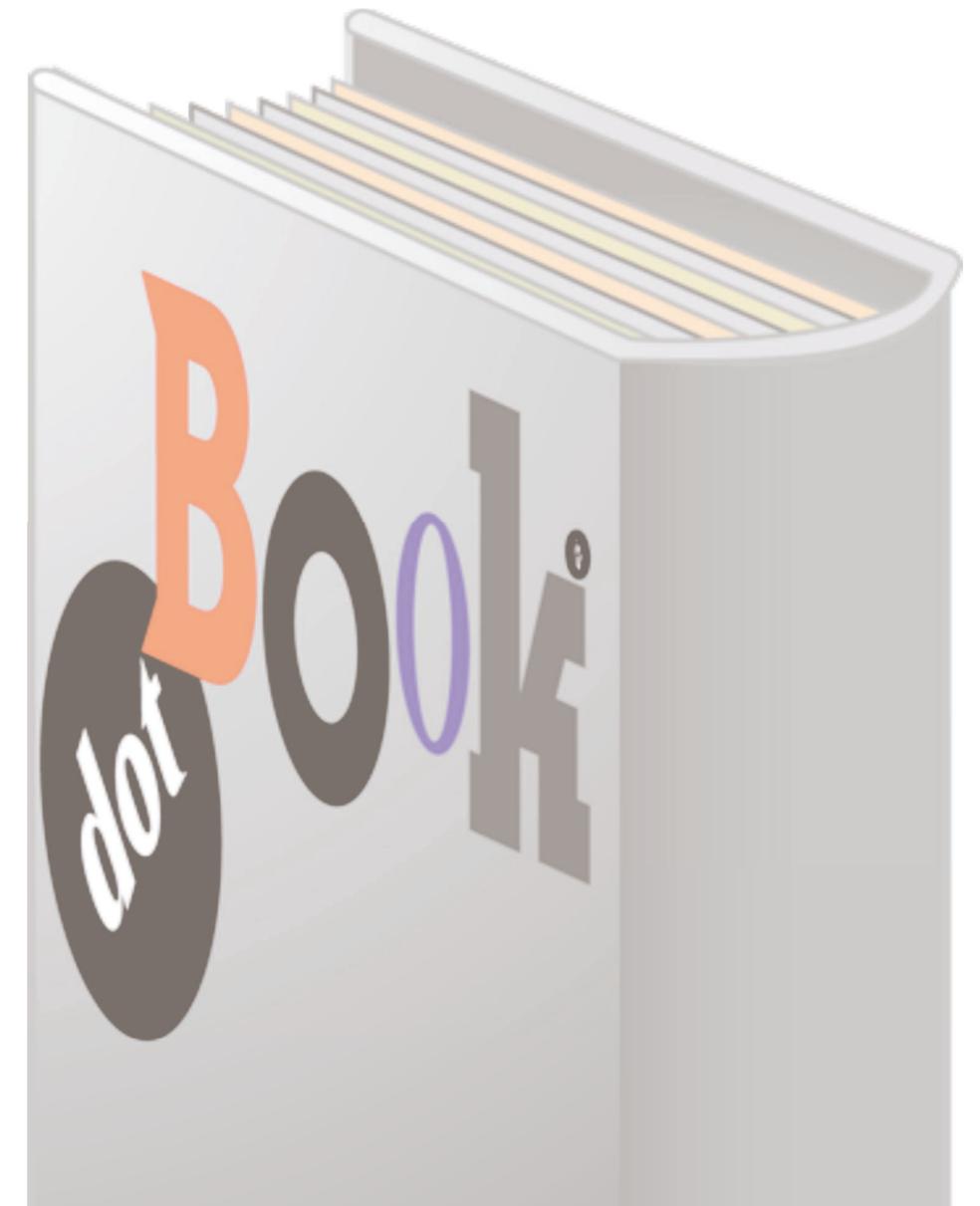


# designing for Webkit ?

2010.4.15  
**VOYAGER**

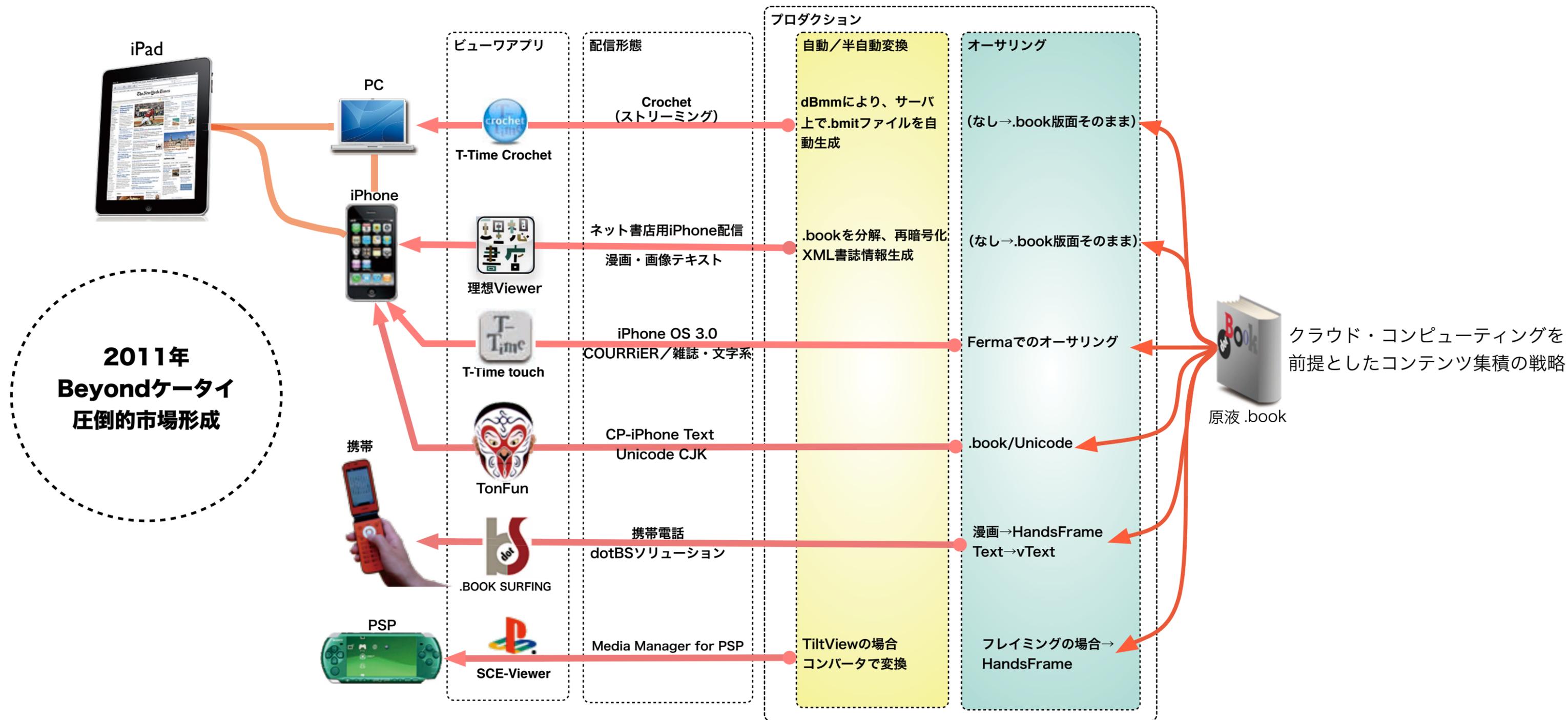


一つの本のデータは、

1. 読者のさまざまなデバイスで閲覧されなければならない これでは読めないはない！
2. いつ如何なる時や場所において、閲覧は保証される（自分のID/パスワード）
3. Lending（貸出）とVending（販売）が備わっていないなければならない
4. 出版社（者）の意思が尊重されなければならない Directory to Publisher

そう考えてドットブック（.book）という電子出版を行なってきた  
—— 実現出来たことも、出来なかったこともある……

.book Solution——あらゆる液晶デバイスを本にする



iPad



T-Time Crochet

- ▶ PC用Plug-inソフトウェア PC用Webブラウザ上で.bookを表示・閲覧させる。
- ▶ 既存.bookであればCrochetに表示が可能（現在市場に存在する.bookは12,000）。
- ▶ Crochet上で、.bookの表示ファンクションを付加できる→立読みページ制限など。
- ▶ ストリーミングによる表示→.bookのファイルダウンロードはせず（DRMの新しい考え）。
- ▶ 講談社KC+、幻冬舎コミックス『スピカ』、角川学芸出版、NHK出版などが採用。

iPhone



理想Viewer

- ▶ ネット書店用iPhone/android配信ビューア/書棚アプリ。漫画系/文字系に対応。
- ▶ アプリを配信は当該サイト、コンテンツ配信、課金/決済を独自サーバで運営管理する。
- ▶ コンテンツの独自編成、発売日など版元の自由を保证する。



T-Time touch

- ▶ iPhoneOS 3.0/android用のビューアアプリ。画像書出しで雑誌・文字系にも適応。
- ▶ APP S/andro M経由でアプリを配信、コンテンツ課金/決済はAPP S、andro M、配信は独自サーバで管理。
- ▶ 雑誌などの発売日コントロールを確保。



android



TonFun

- ▶ iPhoneOS 3.0用/CP-iPhone用どちらでも対応可能のビューアアプリ。
- ▶ 文字系.bookをネイティブに閲覧するビューアアプリ。
- ▶ 既に市場展開されている文字系.bookならば、そのまま閲覧できる。
- ▶ 文字拡大、罫、付箋などの付加機能あり（音声読上げの可能性）。
- ▶ Unicode対応で2バイト圏（中国・台湾・韓国・日本）をカバーする。



※Ton Funは、トン・ファン=東方を意味し、アジア圏を縦横に孫悟空の如意棒をイメージしている。



.BOOK SURFING

- ▶ dotBS (.book-Surfing) 日本の携帯電話5キャリア対応のメジャービューア（漫画系/文字系）。
- ▶ 日本での採用CP数は5キャリアで900サイトを越える（カバー率90%以上）。
- ▶ 日本の代表的出版社→講談社、小学館、角川書店、新潮社、双葉社、秋田書店等々採用。
- ▶ 日本の代表的取次→BitWay（凸版系）、MBJ（DNP系）、NTTソルマーレ等々採用。



SCE Viewer

- ▶ SCEビューア、ビルドデータ作業はリブリカが実行。
- ▶ .bookからのprojectデータを書出し（開発請負）。
- ▶ 漫画系.bookのレイミング情報を転用→CSEツールでの書出し可。
- ▶ 全ての漫画系.bookは極めて低コストで転用可能。

2011年 Beyondケータイ 圧倒的市場形成

## 電子本ビューア『T-Time』

T-Time（ティータイム）は、ドットブック（拡張子 .book）およびTTZ（拡張子 .ttz）形式の電子本を読むためのビューアソフトです。テキストやHTMLも電子本と同じ表示形式でお読みいただくことができます。

### お好みの文字サイズ、ページサイズで表示

T-Timeでは、電子本の文字を拡大したりページサイズを変更したり、ご自身で読みやすさを調整できるようになっています。フォント、行間、縦組・横組など、お好みの設定を行えます。

The diagram illustrates the viewer's flexibility through four stages of text display:

- Original View:** The text is displayed in a standard vertical layout within a window titled "小さなメディアの必要 3/347".
- 拡大 (Zoom In):** An arrow labeled "拡大" points to a screenshot where the text is significantly larger, window title "3/644".
- ウィンドウサイズ変更 (Change Window Size):** An arrow labeled "ウィンドウサイズ変更" points to a screenshot where the text is smaller and more compact, window title "3/540".
- さらに拡大 (Zoom In Further):** An arrow labeled "さらに拡大" points to a screenshot where the text is very large and the page is oriented horizontally, window title "3/1046".

「小さなメディアの必要」（津野海太郎 著）

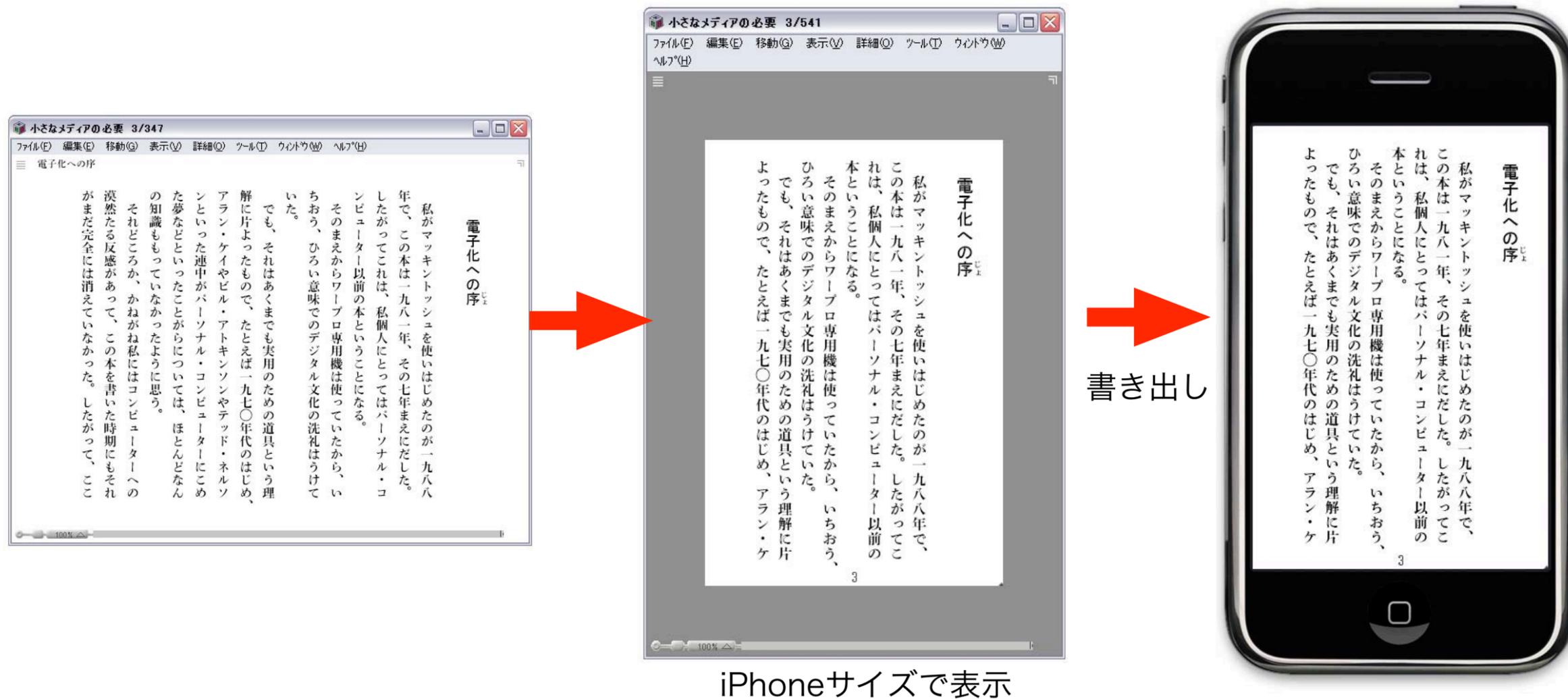
### 今そこにある液晶デバイスを「本」にする

各種デバイスへの「書き出し機能」をつかえば、携帯電話やデジタルカメラなど、JPEG画像を表示できるデバイスで、読書ができるようになります。

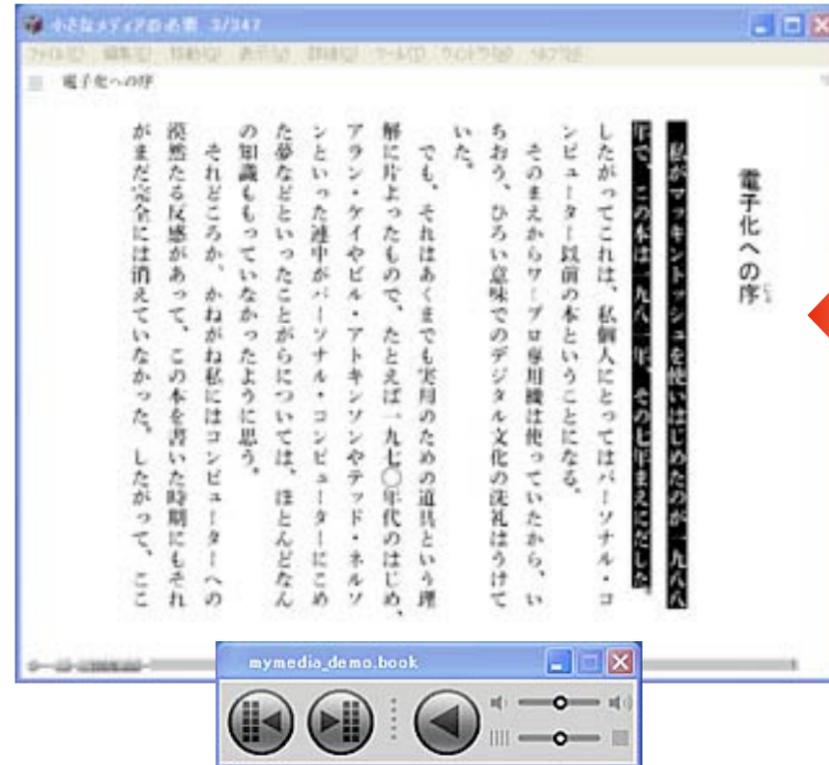
### 日本の活字文化を支えた秀英フォントを内包

秀英フォント\*を内包しています。フォントのインストールなどのわずらわしい作業をせずに、初心者のかたでも外字、旧字などに配慮した出版社の作品を手軽に楽しむことができます。

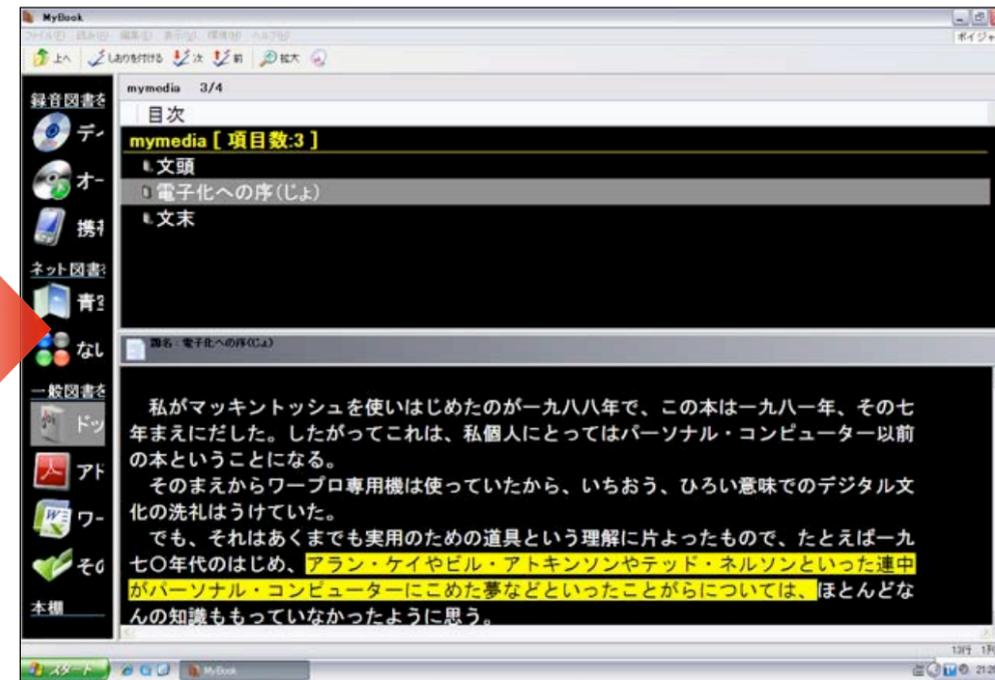
\*TrueType 秀英太明朝体フォント（大日本印刷）



.bookは「読み上げ」（主に視覚障害者が用いる、PCの操作／情報を専用ソフトにより合成音声で読み上げる機能）に対応しています。「読み上げ対応」.bookを作れば、テキストファイルの流出の心配なく、アクセシビリティに配慮したコンテンツを配信することができます。



電子かたりべ

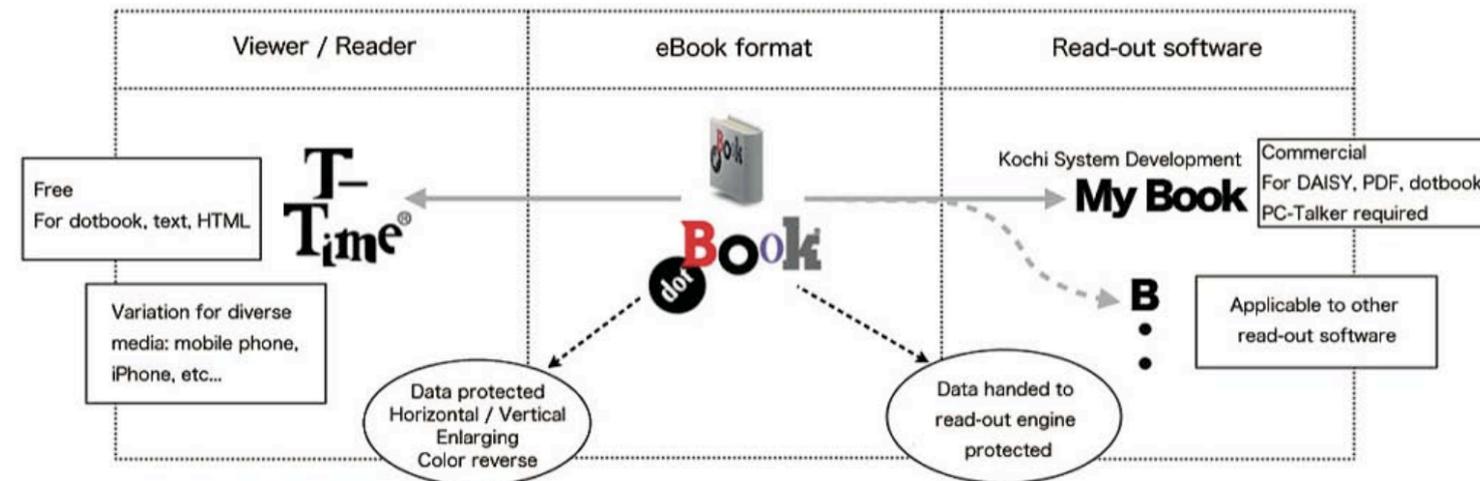


PC-Talker  
MyBook

「小さなメディアの必要」 (津野海太郎 著)

ドットブック (.book) は、これを視覚障害者が読上げるために、専用読上げソフトに連動するようにつくられています。出版社（者）の意志で、視覚障害者への読上げ対応が備わっているのです。講談社、新潮社、角川書店は、視覚障害者への読上げ対応に積極的な姿勢を示しています。

視覚障害者は一般に音読用ソフトウェアを利用しており、こうしたソフトウェアがドットブック (.book) を読込み、eBookのデータを音読用に解釈する仕組みとなっています。ドットブック (.book) 自体が健常者用のものであるとか、視覚障害者用のものであるとかの区別を一切要求するものでなく、あたりまえのこととして視覚障害者への支援を実現できることになっています。視覚障害者としても、健常者と同じのeBookを購入することによって、それを音読させて利用することができることとなります。日本では高知システム開発の「My Book」が広く普及しており、このソフトによって、ドットブック (.book) だけではなく、PDFもDaisyも読上げが可能になっています。



Relation between Viewer / Reader, eBook format and Read-out software

## 1、TTXファイルの作成

ドットブック (.book) を作成するためには、最初にTTXファイルを作成します。

TTXファイルとは、.bookのソースファイルのことで、HTMLに似たタグ付きテキストです。

挿絵、外字などに画像ファイルを使うこともできます。

コミックの場合には、同一解像度、連番ファイル名で版面画像を用意します。

## 2、T-Time書棚用サムネイルファイルの作成

T-TimeがユーザーのPC上に作成する「T-Time書棚」に表示されるサムネイルファイルを作成します。

## 3、propファイルの作成

TTXを.bookにする際のプロパティ（体裁情報）を設定したpropファイルを作成します。

作成したら、同じファイル名で、TTXと同階層に置きます。

（例）sample.ttx

sample.prop

## 4、ドットブックビルダーでドットブックの生成

ドットブックビルダーを起動し、ログインします。

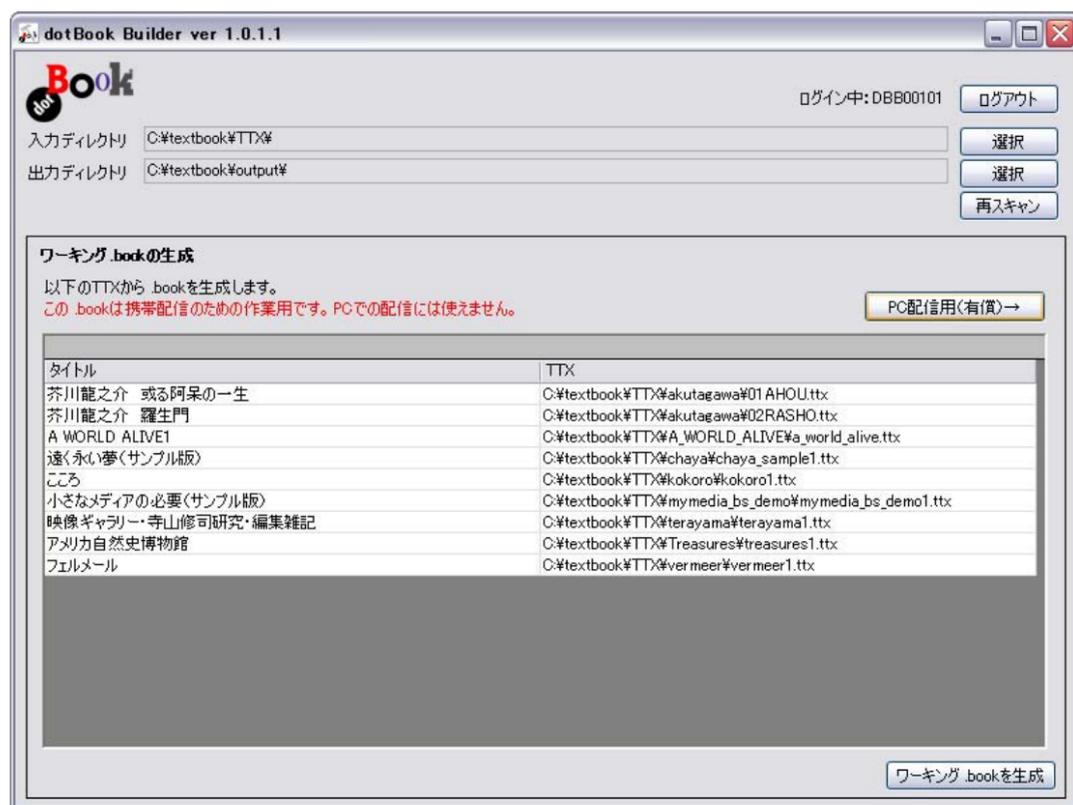
入力ディレクトリ（.bookを生成したいTTXがある上位ディレクトリ）と出力ディレクトリを指定し、.bookを生成します。

## dotbook Builder

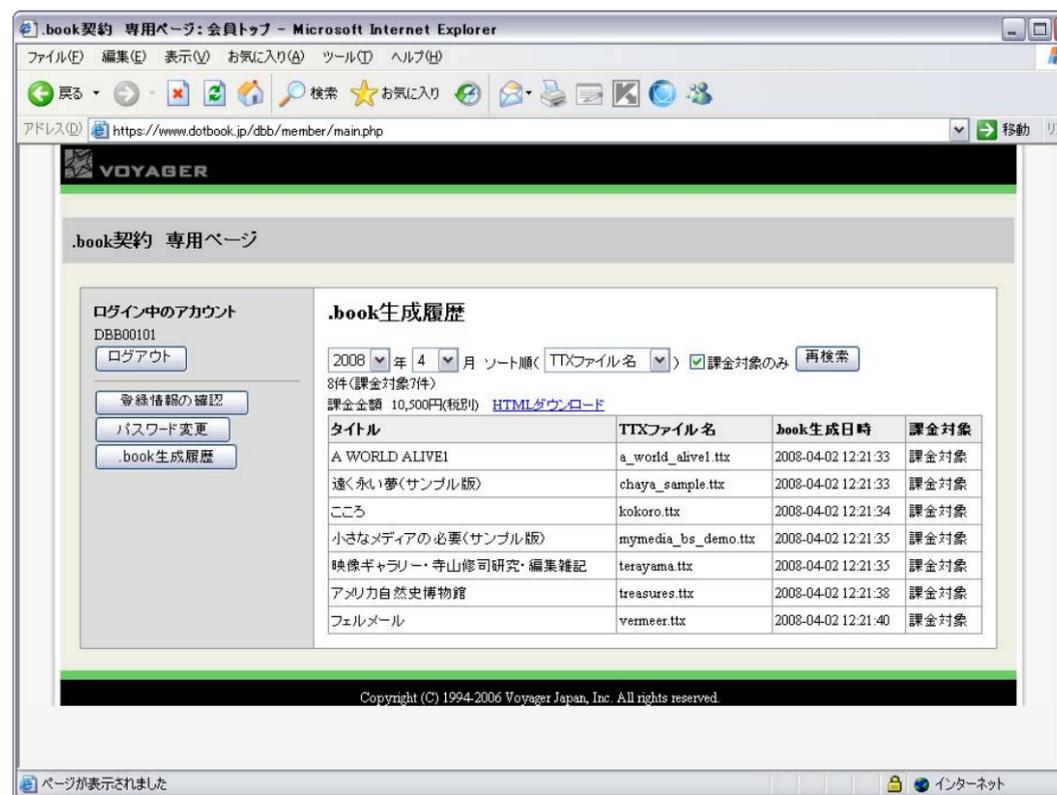
.ドットブック (.book) の作成には、dotbook Builderというツールを使用する必要があります。  
弊社とプロダクション契約を結んでいただければツールは無償でご提供いたします。

## ビルド料金

ソースファイルであるTTXを.bookにコンバートするには、1ファイルにつき1,500円の従量課金となっております。  
PC用制作をしない場合（携帯電話向け制作の原版として.bookを生成する場合は、1,500円の従量課金は発生しません。



dotbook Builder



.book契約 専用ページで.book生成履歴の確認ができます



T-Time Crochetは .bookを読者へストリーミング配信するためのサーバシステム、およびWebブラウザ用プラグインです。

Crochetはページ単位でデータを送信するため、数千ページにわたる長大な書籍もストレス無く、瞬時に読者のもとへ届けることができます。

また、.bookファイルはサーバに置かれ、ユーザの手元に渡ることはなく、煩雑なDRMの手続きを強いられることもありません。

### あなたの本棚

Crochetはアカウント管理システムと組み合わせることで、ユーザ毎の本棚を作成することができます。

### 閲覧制限機能を使った立ち読み

Crochetには .book内の任意のページのみ閲覧可能にする機能がついています。この機能を使用することで、全ページ収録された .book を一つ用意するだけで、販促用の立ち読みと、販売両方をまかなうことができます。以前の様に立ち読み専用ファイルを用意する必要がありません。

### 立ち読みから購入誘導して全ページ閲覧

立ち読み表示時に購入リンクを設けることで、スムーズな購入誘導が可能です。

決済が完了し次第、Crochetの設定を変更することで、閲覧制限を解除し全ページ閲覧が可能になります。

この際、立ち読みから全ページ閲覧までシームレスに行われるため、読者のストレスを低減することができます。



iPhoneでデジタル書籍を販売する際には、コンテンツの種類や、配信方法によって複数のビューアや、課金方法を選択することができます。

### iPhoneコミック

T-Time Touchビューアを使用しApp Store課金を利用する方法。

コミックの版面をそのままiPhoneに表示させるため、特別な編集が必要ありません。また、課金もApp Storeが提供するものを使用するため、特別なシステムを用意する必要もありません。

### 雑誌（クーリエ・ジャポン方式）

クーリエ・ジャポンで採用されている、タップ操作によって雑誌の版面と記事本文を行き来するインタラクティブな表示方法です。記事本文はiPhoneの画面でも読みやすい様に再構成されるため、ストレス無く読み進めることができます。

課金はApp Storeのシステムを使用します。

### ネット書店型iPhone配信モデル/自社課金方式

ネット書店型iPhone配信モデル/自社課金方式は、App Storeを介さずにコンテンツの販売を行うソリューションです。App Storeにて各CP様専用の書棚アプリケーションを販売配布し、iPhone/iPod touchのSafariから直接コンテンツを購入するため、自由な編成で、コンテンツを販売することができます。



### 理想書店

ボイジャーが運営するネット書店型iPhoneモデルの書籍販売サイトです。

自社でサーバ/課金システムを用意することが難しい、または、手間をかけたくない場合などは、弊社にコンテンツをお預けください！

## 独自拡張したHTMLファイル

.book を構成する 独自拡張ファイル、TTX は、HTML をベースとしているため、XHTML ベースの ePub への変換がスムーズに行える。

改行	 	→	 
見出し	<H1> ... </H1>	→	<h1> ... </h1>
行揃え	<CENTER> ... </CENTER>	→	[CSS] p.center { text-align: center; } [XML] <p class="center"> ... </p>
画像	<T-IMG src="img/cover.jpg" width=100%>	→	width="100%" />
など			

## 拡張プロパティを持ったBRタグの変換例

“indent=-4” は行頭4文字インデントをする指定である。

<BR indent=-4>



賢一郎 まだ仕立物をしとるの。もう人の家の仕事や  
こし、せんでもええのに。

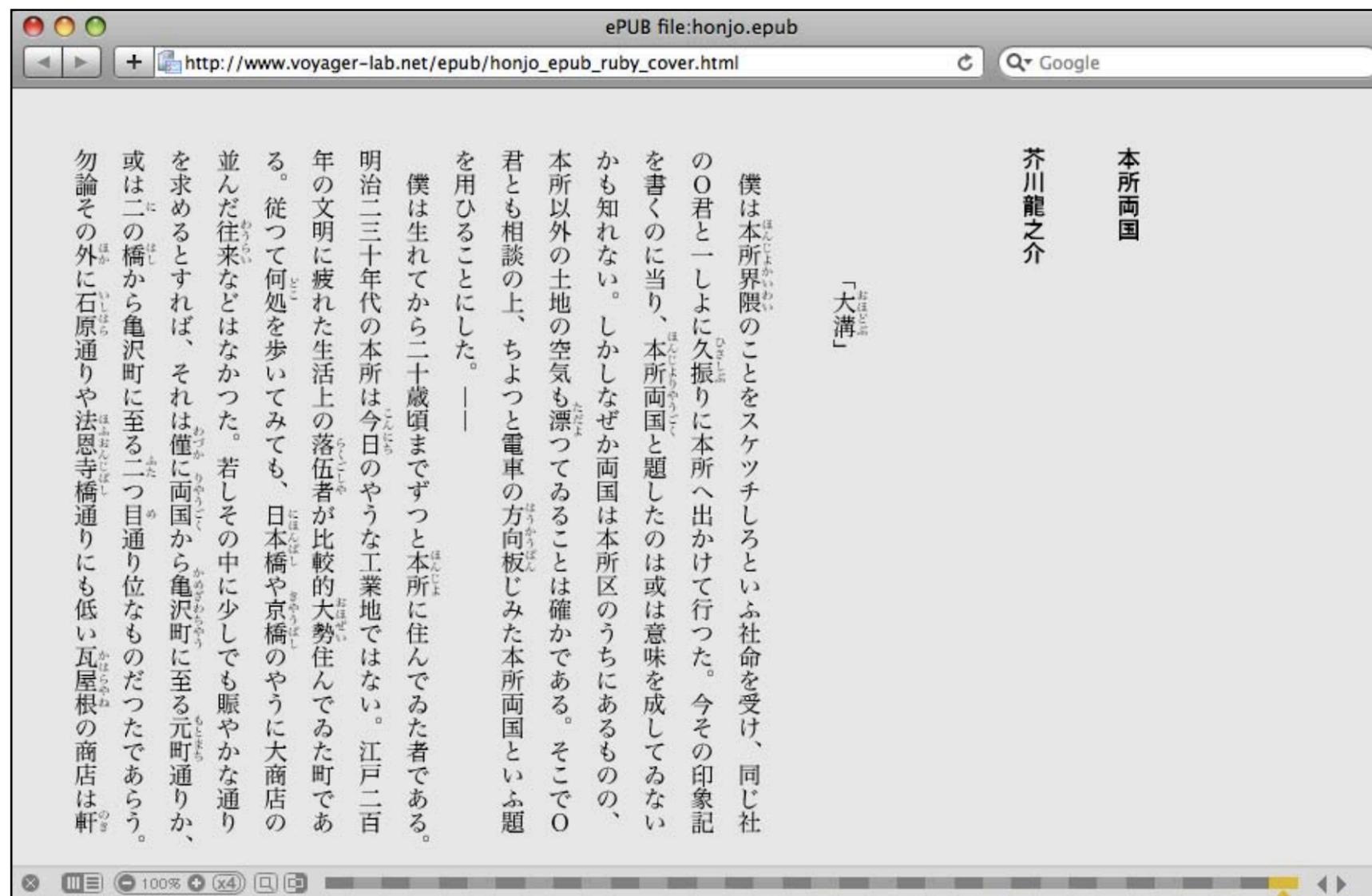
[CSS]

```
p.indentfour { text-indent: -4em; padding-left: 4em; }
```

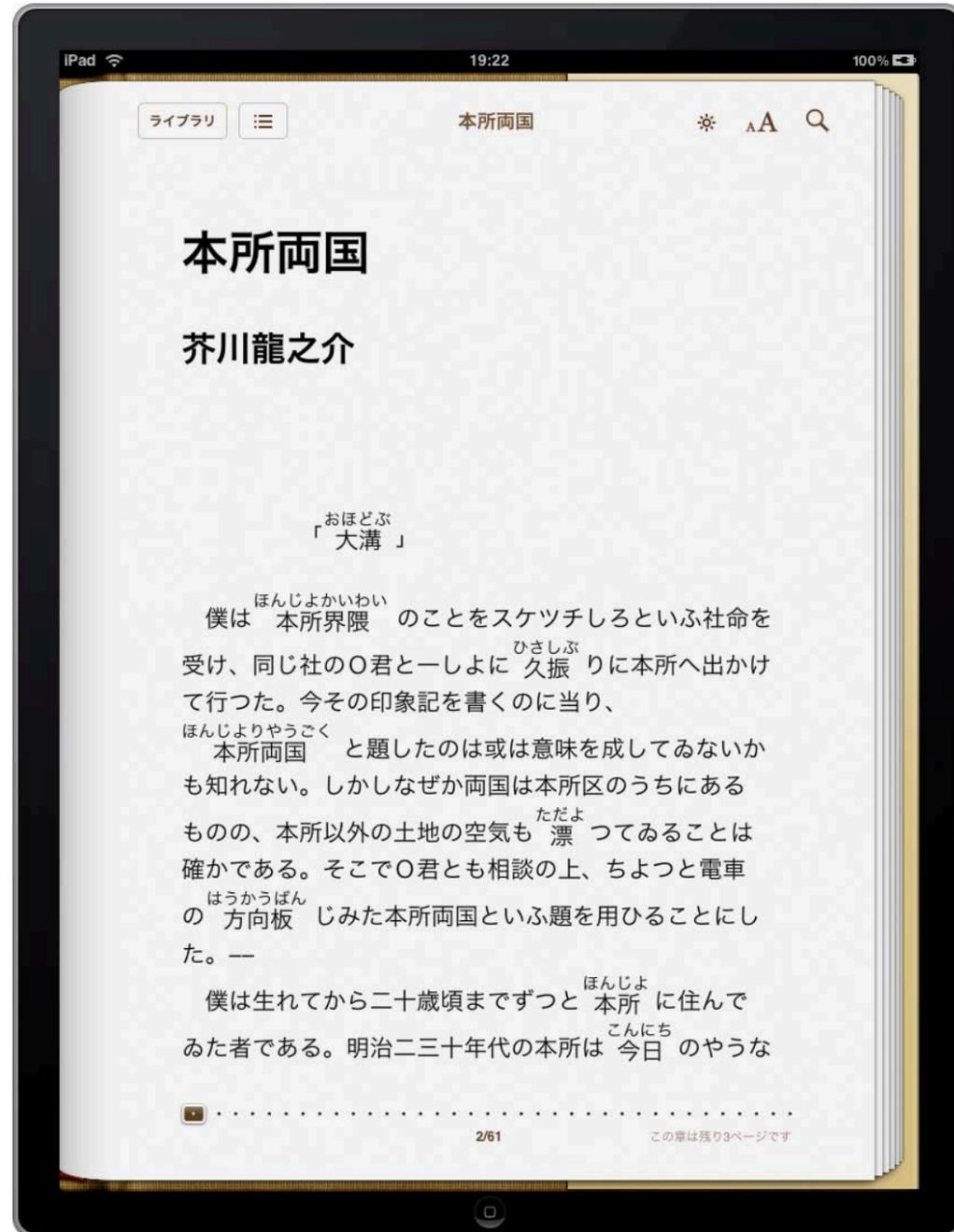
[XML]

```
<p class="indentfour"> ... </p>
```

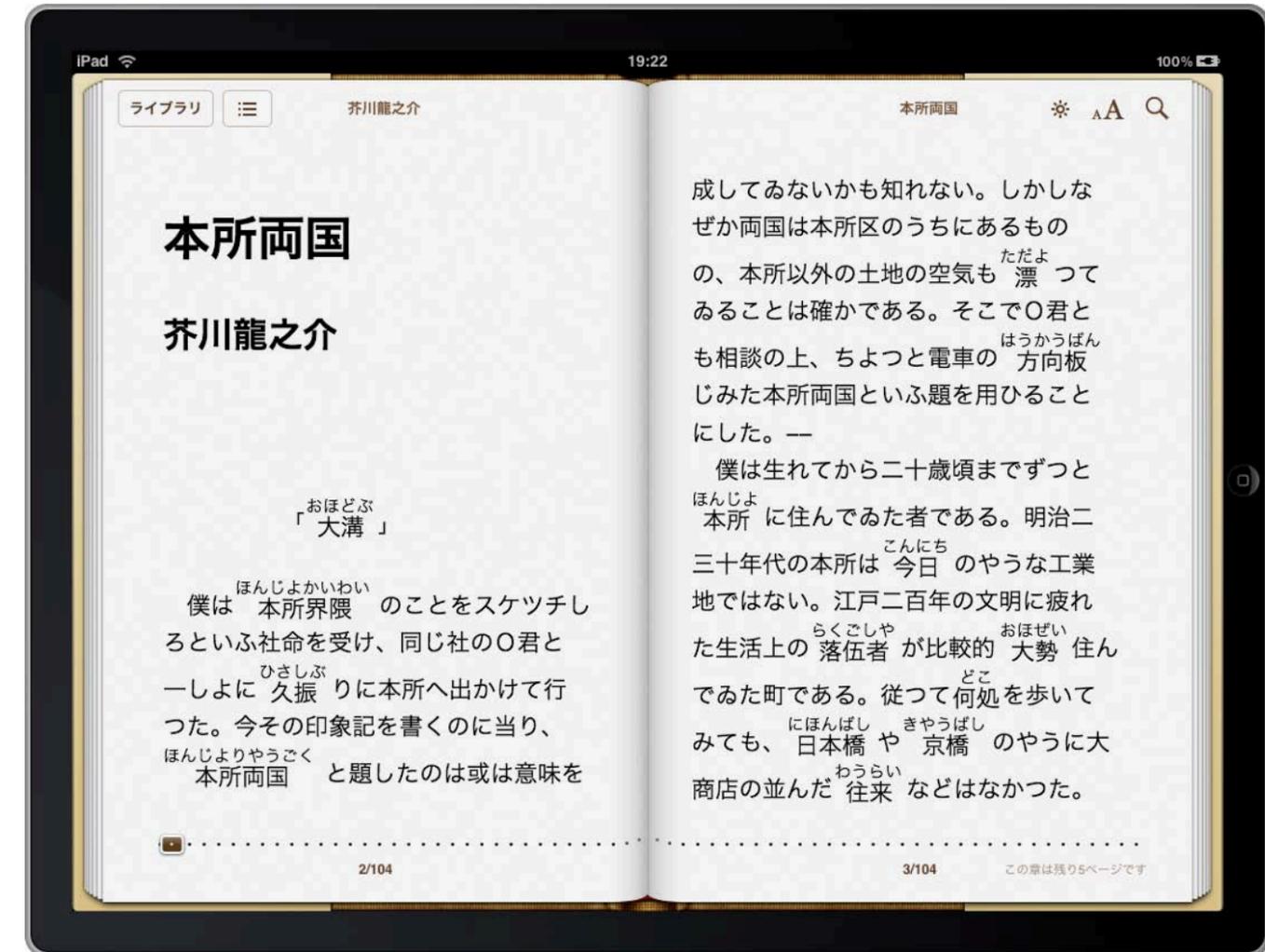
## .book から変換された ePub をCrochetで表示した例 —— テキスト



縦書き、ルビ表示、禁則処理を完備している。



## iBooksでePubデータを表示した



# .book から変換された ePub をCrochetで表示した例 —— コミック



復活!!第三野球部 (C)むつ利之/講談社

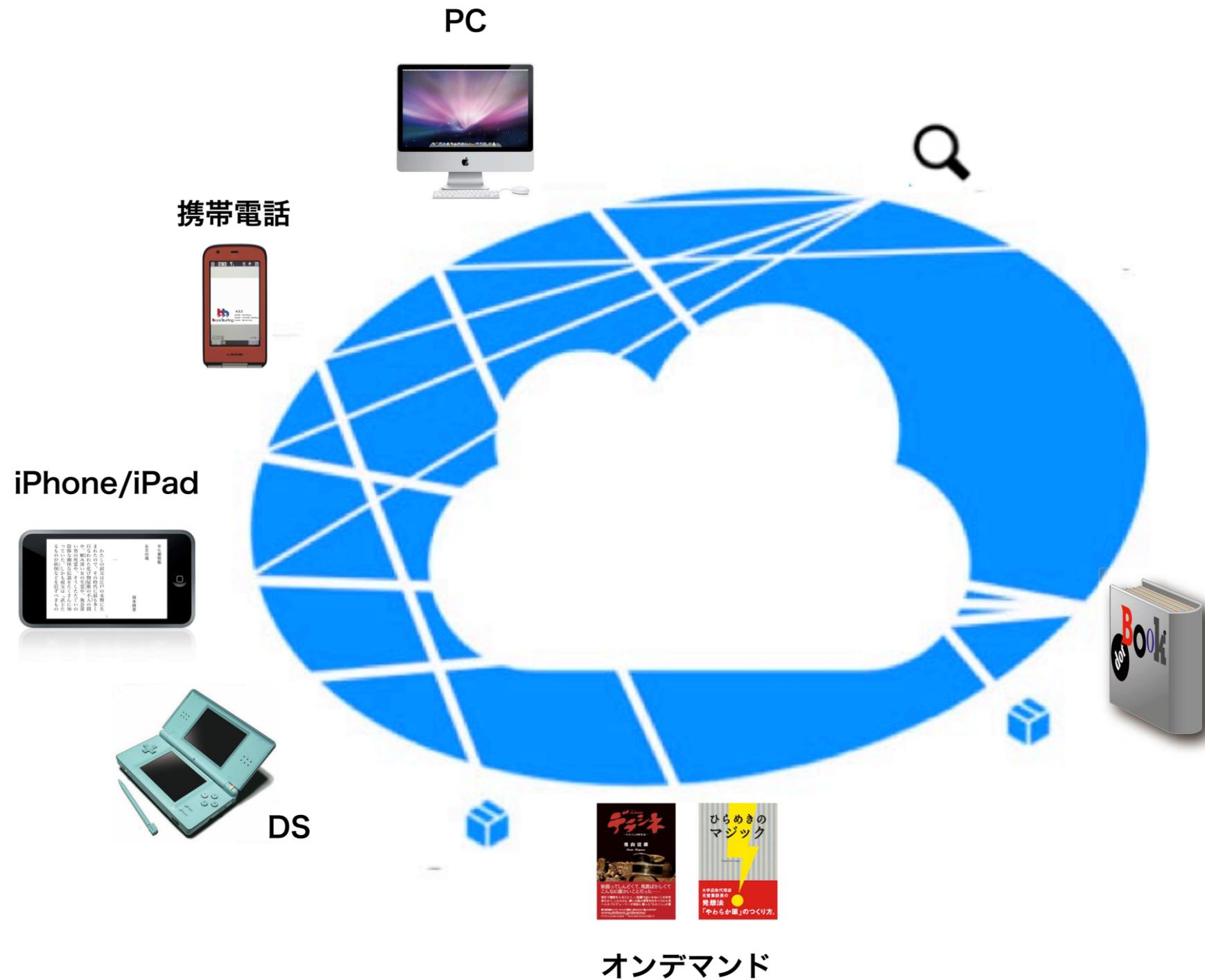


## iBooksでePubデータを表示した

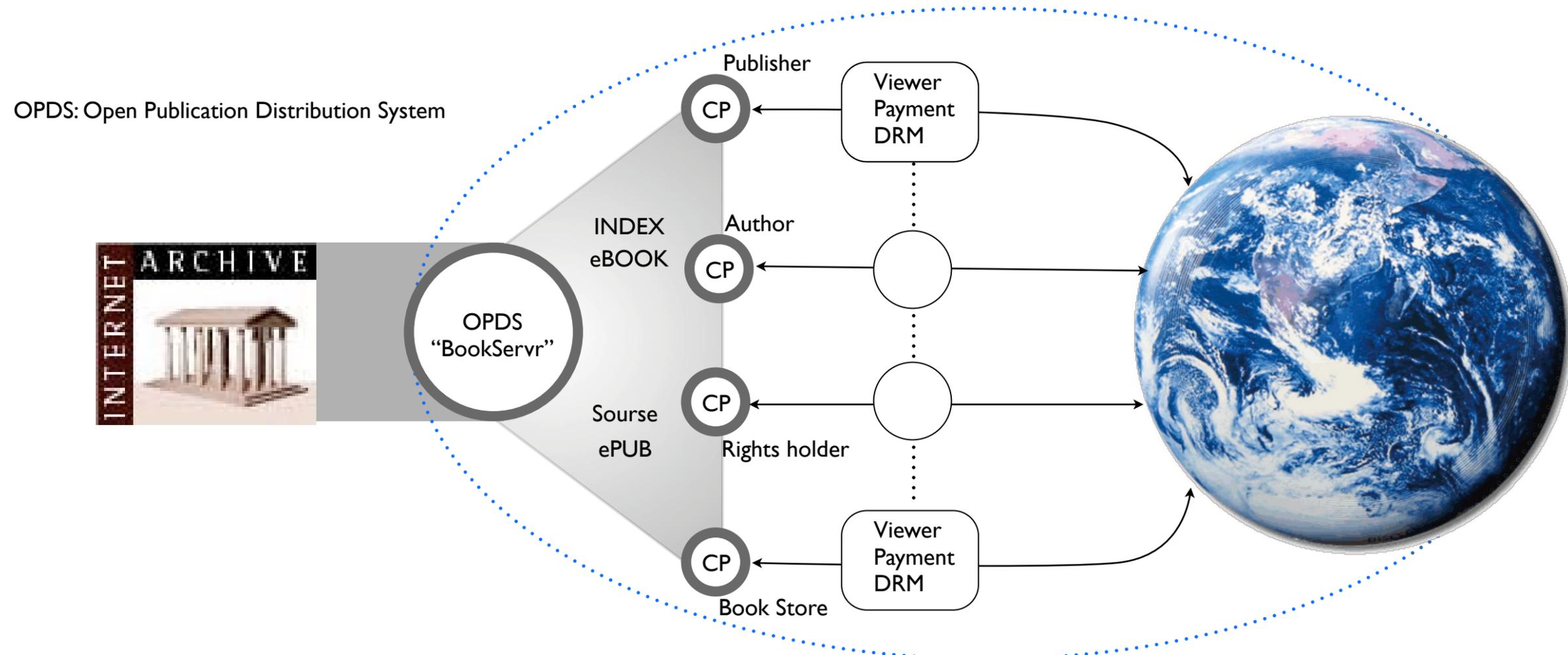


# 電子的なコンテンツの流通イメージ

版元から読者へ、電子的なコンテンツはクラウド上のシステムを通じて、読者の望むフォーマットに変換され、届けられる



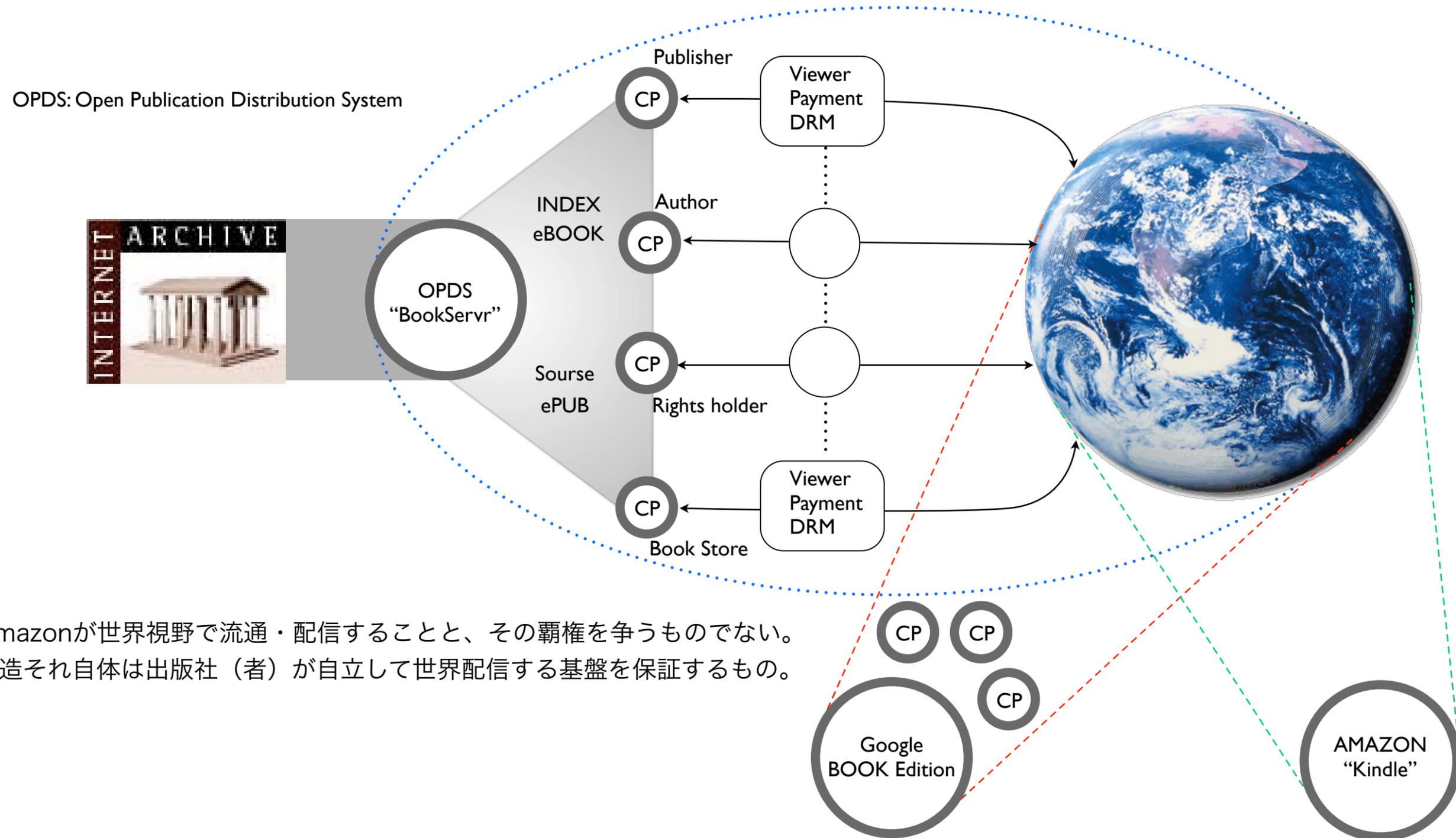
# “Open Library”



OPDS (Open Publication Distribution System)という、「書誌情報」の集合体を通じて、eBookをグローバルにインターネットを通じて供給するプラットフォームの「ビジョン」です。それ自体で課金、貸出しを目指す実体ではありません。

OPDSを通じて各CP（出版社、著者等権利者、書店等）が読者へ共通のeBookのインデックスを提供し、そこから読者はeBookを購入したり、借りたりするというものです。課金決済、Viewer、著作権管理(DRM)等はCP側のサイトが行います。

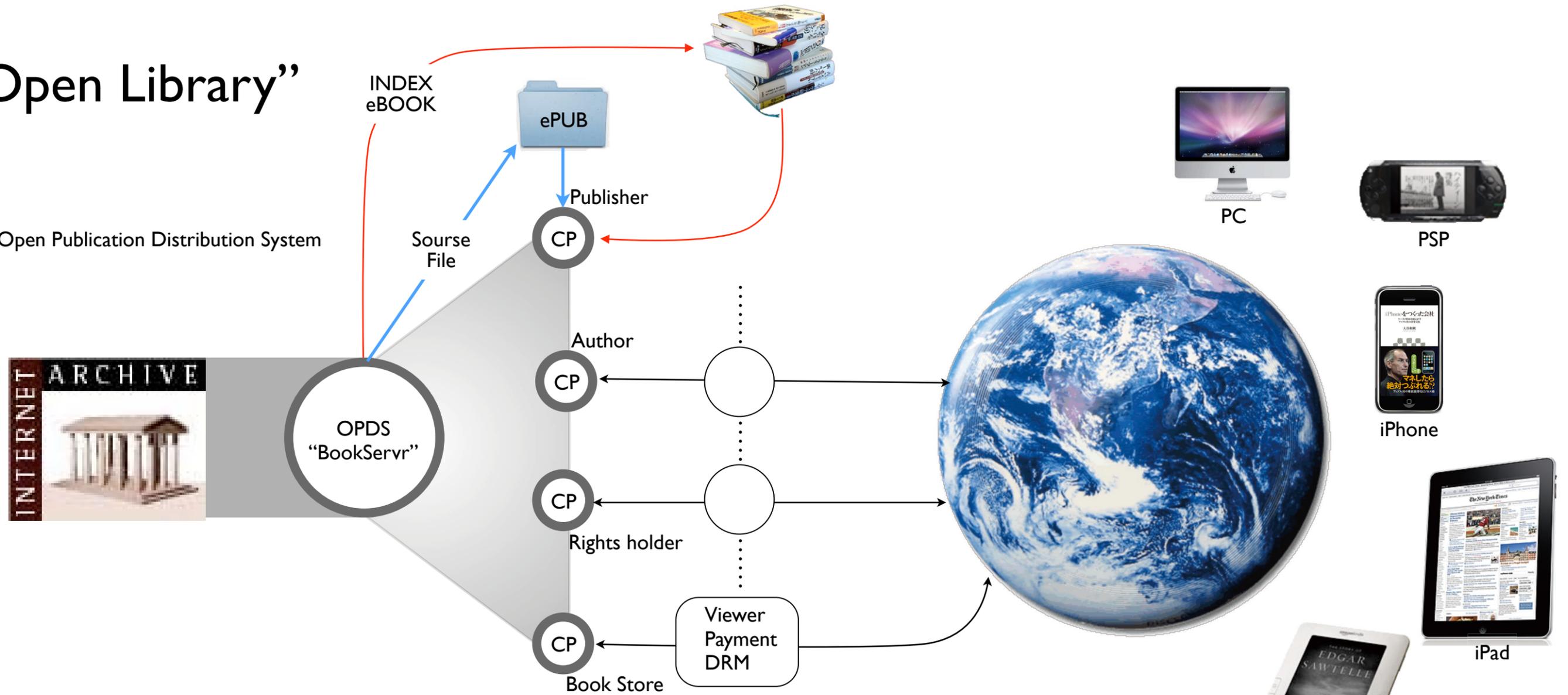
# “Open Library”



Google, Amazonが世界視野で流通・配信することと、その覇権を争うものでない。  
むしろ、構造それ自体は出版社（者）が自立して世界配信する基盤を保證するもの。

# “Open Library”

OPDS: Open Publication Distribution System



OPDSは、出版社、著者等権利者、書店他へeBook共通のインデックスを提供する。  
 OPDSは、通常の書籍にまつわる書誌情報に加え、ソース・ファイルのePUBを準備しCPに提供する。



On Demand Print

Kindle

iPad

iPhone

PSP

PC